

平成 29 年度 西川地区体育施設 事業報告書

	評価項目	評価の観点	内容
団体の評価	①団体について	地域に密着した組織であるか	指定管理者：西川地域コミュニティ協議会 様々な地域課題を解決するために、地域が一体となり、自治会・町内会を中心に様々な団体等が参加する中学校区の組織である。
	②予算の範囲内での適正な執行	予算の範囲内で、適正に執行ができるか。また、収支計画は適正か。	収支計画書に基づき、協定書で定められた指定管理料の範囲内において効率的な執行を行った。
	③個人情報保護関係	新潟市個人情報保護条例の規定に基づき適切な取扱いを行えるか。また、個人情報の保護に対する意識は適正か。	「西川地域コミュニティ協議会個人情報保護規程」を制定し、研修を行い個人情報が記載されている利用申込書等の取扱いの際など、日々の業務において個人情報保護に関する注意喚起を行い、個人情報の適正な取扱いの徹底を図った。 個人情報を含む書類の破棄にあたっては、シュレッダーにより裁断処理の徹底を図った。
指定管理の評価	④施設の管理方法	事業計画に定める施設の管理方法は適切か。	利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、協定書・管理仕様書の内容に基づき、研修を実施し適正管理に努めた。 施設長が中心となり職員全員に対し施設管理における報告事項・留意事項などを伝達し、施設サービスの向上に努めた。
	⑤組織・人員体制	安全に運営できる組織・人員体制になっているか。	西川コミ協が管理人を雇用 事務長 1 名、施設長 1 名、事務職員 1 名、各施設管理者 1 名、パート職員 1 2 名を雇用し、昼間・夜間の 2 交代制(常時 2 名勤務)で勤務し適正な管理を行った。
	⑥事故防止や発生時の対応	事故防止に努めているか。また、事故発生時の対応が整備されているか。	平成 28 年度に危機管理マニュアルを制定した。 事故発生時には、「危機発生時対応マニュアル」に沿って、速やかに施設長への報告・伝達を行い、事故の大小にかかわらず、西蒲区地域課への報告を適切に行うこととしているが、施設内における定期的な巡回や設備の適正管理により、事故防止に努めた。
	⑦要望や苦情に対する対応	要望や苦情を受けるためのしくみが整備されているか。	要望・苦情などがあつた場合、管理日誌の報告事項に必ず記入することとし、管理者全員が情報を共有してきた。必要に応じて施設管理運営会議で情報の共有・対応検討を行うこととしているが、当該年度における利用者からの苦情はなかった。
	⑧災害発生時の対応	防災マニュアルや避難訓練などの災害発生時の対応は整備されているか。	災害が発生した場合、「危機管理対応マニュアル」に従い、利用者の安全を確保するよう研修を実施した。
	⑨管理経費削減の具体的な取り組み方法	経費削減への取り組みに努めているか。	光熱水費が公費で賄われていることを十分に認識し、節水やこまめな消灯の徹底など、無駄なエネルギーの消費を抑えて管理的経費の節減に今年も努めた。
	事業の評価	⑩自主事業計画	利用料金に応じ、地域に配慮した事業が計画されているか。
⑪新潟市のスポーツ施策についての理解		新潟市のスポーツ施策や事業について理解しているか。	公共の施設であることを十分認識しており、市が発行する各種スポーツ事業リーフレットや、近隣のスポーツ大会リーフレットを設置している。
⑫サービス向上に向けた取り組み		利用者のサービス向上に向けた取り組みに努めているか。	施設案内パンフレットを作成し、利便性の向上を図った。 施設利用者のサービス向上のため、利用者にアンケート調査を行い、サービスの向上に努めた。 施設管理者が普通救命講習を受講し、AED の操作方法を身につけるなどスキルアップを図った。